

「造園技術」シラバス

学科名：林業緑地科 単位数：2単位 対象：2学年

学習の目標

日本庭園と洋式造園の歴史や技法について理解させる。基本的な造園施工・管理、造園緑化材料に関する知識と技術を取得させ、造園技術者として必要とされる能力と態度を育む。

学期	月	時数	学習項目	学習のねらい
1	4	9	造園の様式	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本の環境と造園様式、西洋の造園の様式を学ぶ。 ○ 剪定・整枝の目的や剪定時期の学習をする。 ○ 検定試験に向けてカリキュラム沿って学習する。 実技指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 竹垣（四つ目垣）作成 ・ 縁石設置作成 ・ 敷石設置作成 ※ 各自時間を決めて作成できるように練習をする。 学科指導 <ul style="list-style-type: none"> ・ 材料、使用道具など基本的な知識を学習する。 樹木調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 校内ある樹木を30種類以上調査し樹木の名前や性質を学習する。
	5	9	造園樹木の手入れと管理	
	6	12	3級造園技能検定 ・実技指導 ・学科指導 ・樹木調査	
	7	9	↓	
2	9	12	造園緑化材料の種類と分類 造園樹木の種類と特性	<ul style="list-style-type: none"> ○ 造園緑化材料の種類を学習する。 ○ 樹木の植物学上の分類を表に作って解りやすく学習する。また、特性についても代表的な樹木を用いて学習する。 ○ 実生、挿し木、接ぎ木、取り木について学習する。 ○ 植栽の技法、樹木の根回しや移植について学習する。 ○ 芝生の性質や造成を学習する。 ○ 石組み工から敷石工まで基本的な施工方法を学習する。 ○ グループで造園図面を基に坪庭施工を行う。
	10	12	造園樹木の繁殖 造園植栽施工	
	11	12	庭園・造園施工	
	12	9	↓	
3	1	9	↓	
	2	9		
	3	3		

評価の方法

下記の観点に基づき、総合的に評価します。

定期考査、レポート、出席状況、実習に対する意欲・態度、検定等

「造園技術」シラバス

学科名：林業緑地科 単位数：2単位 対象：3学年

学習の目標

日本造園と洋式庭園の歴史と技法について理解させる。基本的な造園施工・管理、造園緑化材料に関する知識と技術を取得させ、造園技術者として必要とされる能力と態度を育む。

学期	月	時数	学習項目	学習のねらい
通年			植物の管理	○ 造園樹木と芝生の管理を行う。
1	4	4	植栽とデザイン	○ 配植のデザイン。自然式植栽法と整形式植栽法について学習する。
	5	6		○ 単植，寄せ植えや真木，添，対，前付け，見越しなどの配植単位について。
	6	8	植栽の方法	○ 樹木の表裏と立入れについて学ぶ。(実習) ○ 根回しについて，適期，種類，方法，養生，注意点について学習する。
	7	4	樹木の移植	○ 移植の種類，樹種別の適した方法，適期などについて学習する。(根巻き法の実習)
2	9	8	造園土木施工	○ 坪庭を作庭実習。 竹垣作成、石済み、植物配置、芝張り、敷石 ホイルローダ，バックハウの実習。
	10	8	芝草の種類と分類	○ 日本芝，西洋芝，それぞれの種類と分類を学習する。
			芝生の造成	○ 造成方法，造成の手順，養生について勉強し，芝張りの実習とその後の養生を行う。
	11	8	2級造園施工管理技術検定(学科のみ)の取り組み	○ 11月の第3日曜日の学科試験受験に向けて対策をする。(土木工学等，施工管理法，法規)
	12	6	造園技術まとめ	○ 3年間学習してきた内容の復習と応用。最新の造園技術の紹介。関連業種の学習。
3	1	6	↓	
	2	8		
	3	4		

評価の方法

下記の観点に基づき、総合的に評価します。

定期考査、レポート、出席状況、実習に対する意欲・態度、検定等